

避難所の再配置 届出避難所登録制度 について

令和8年6月24日
長岡市危機管理防災本部

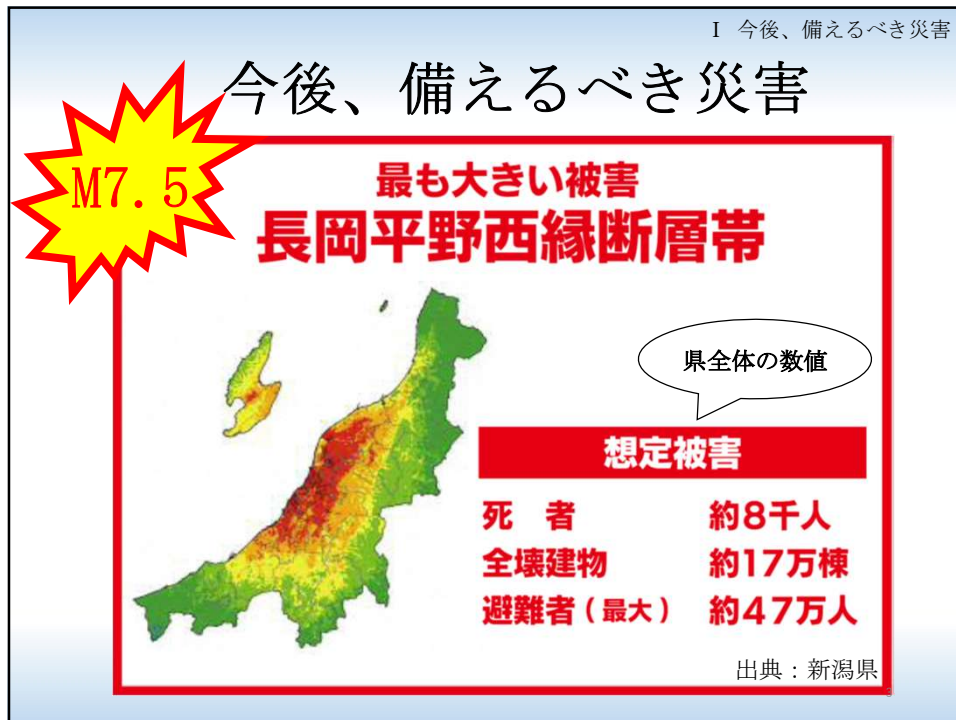
1

1

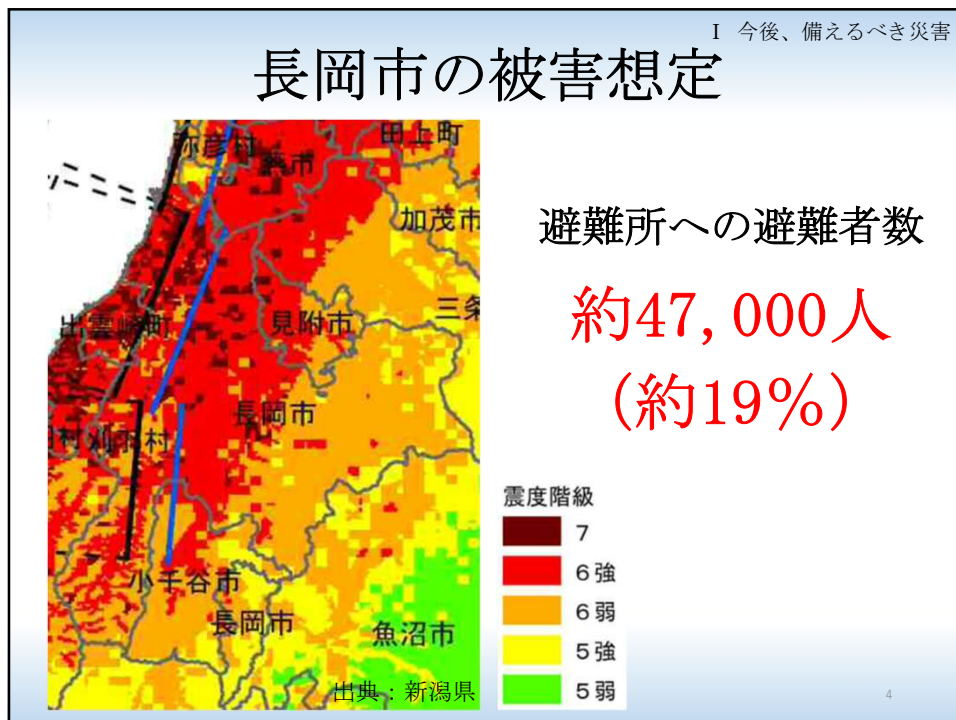
- I 今後、備えるべき災害
- II 長岡市の新たな取組

2

2



3



4

建物の耐震性

- 1981年（昭和56年）6月1日以降に建築確認を受けた建物は、「新耐震基準」により建てられている。
- 新耐震基準：震度6強～7の地震でも建物が、倒壊しないことを目標とした耐震基準。

5

5

地震発生時の避難行動

自宅の被害なし → 在宅避難

(余震が心配な場合は、屋外や車中で一時避難)

自宅が損壊 → ①親戚・知人宅へ避難

→ ②指定避難所へ避難

→ ③届出避難所へ避難

6

6

長岡市の取組

- 1 避難所の再配置の実施
- 2 届出避難所登録制度の開始

7

7

避難所の再配置の実施

これまで：**量**の確保

⇒ デメリット

避難生活に適さない避難所、運営体制の確保

再配置後：**質**の確保

⇒ メリット

避難所環境の向上、支援内容の充実

8

8

継続する避難所

- 小・中学校、高校
⇒ 収容可能人数が多く、丈夫で安全性が高い建物
- コミュニティセンター、体育館、地域会館
⇒ 長期の避難所開設が必要になっても社会活動の再開に影響が少ない。

9

9

指定を取り消す避難所

- 保育園、認定こども園
⇒ 避難者の受入れと園児の引渡しとの並行が難しいほか、社会活動再開のために保育の早期再開が不可欠
- 廃校等廃止施設
⇒ 日常的な利用がなく衛生環境が整えられていない上、ライフラインが限定的

10

10

その他の避難所

- 小学校区ごとの避難所過不足の検証結果により、避難所の継続、**取消し**、**新規指定**を行う。

- 長岡地域**の場合

検証時のR7推計人口：**185,442人**（R8.5.1現在183,081人）

避難率：15.77%

⇒ **想定避難者数：29,244人**

11

11

長岡地域（川西）の再配置方針

【大島小学校区】 想定避難者数：1,778人

施設名	収容可能人数	方針	理由
大島小学校	756人	継続	学校
大島中学校	530人	継続	学校
大島コミュニティセンター	161人	継続	コミュニティセンター
(長岡リックホール)	—	継続	水害時緊急避難場所
(ハイブ長岡)	—	継続	水害時緊急避難場所
合計	1,447人		

※避難所が不足する331人は隣の【希望が丘小学校区】の西中学校等への避難を想定

12

12

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【希望が丘小学校区】 想定避難者数：1,154人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
希望が丘小学校	727人	継続	学校
西中学校	760人	継続	学校
希望が丘コミュニティセンター	262人	継続	コミュニティセンター
合計	1,749人		

※避難所に595人分の余裕があるため【大島小学校区】からの避難者受入れも可能

13

13

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【下川西小学校区】 想定避難者数：243人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
下川西小学校	415人	継続	学校
下川西コミュニティセンター	111人	継続	コミュニティセンター
信濃川下流域下水道 長岡処理区長岡処理場	—	継続	水害時緊急避難場所
下川西保育園	—	取消し	保育園
合計	526人		

※避難所に283人分の余裕があるため【上川西小学校区】からの避難者受入れも可能

14

14

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【上川西小学校区】 想定避難者数：1,856人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
上川西小学校	794人	継続	学校
上川西児童会館・児童クラブ (旧コミュニティセンター分室)	167人	継続	検証結果
江陽中学校	649人	継続	学校
長岡造形大学	—	継続	水害時緊急避難場所
高齢者センターまきやま	—	取消し	福祉避難所
上川西コミュニティセンター	181人	新規指定	コミュニティセンター
合計	1,791人		

※避難所が不足する65人は隣接する【福戸小学校区】又は【下川西小学校区】への避難を想定

15

15

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【福戸小学校区】 想定避難者数：240人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
福戸小学校	279人	継続	学校
福戸コミュニティセンター	133人	継続	コミュニティセンター
王寺川コミュニティセンター	109人	継続	コミュニティセンター
合計	521人		

※避難所に281人分の余裕があるため【上川西小学校区、日越小学校区】からの避難者受入れも可能

16

16

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【日越小学校区】 想定避難者数：1,678人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
日越小学校	773人	継続	学校
日越コミュニティセンター	178人	継続	コミュニティセンター
総合支援・高等総合支援学校	381人	継続	学校
長岡向陵高等学校	331人	継続	学校
上除保育園	—	取消し	保育園
長岡ロングライフセンター	—	取消し	福祉避難所
合計	1,663人		

※避難所が不足する15人は隣接する【福戸小学校区】への避難を想定

17

17

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【深沢小学校区】 想定避難者数：272人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
深沢小学校	214人	継続	学校
合計	214人		

※避難所が不足する58人は隣接する【才津小学校区】への避難を想定

18

18

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【才津小学校区】 想定避難者数：541人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
才津小学校	319人	継続	学校
深才コミュニティセンター	185人	継続	コミュニティセンター
新産体育館	220人	継続	体育館
長岡技術科学大学	—	継続	水害時緊急避難場所
合計	724人		

※避難所に183人分の余裕があるため【深沢小学校区】からの避難者受入れも可能

19

19

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【関原小学校区】 想定避難者数：1,010人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
関原小学校	551人	継続	学校
関原中学校	563人	継続	学校
関原コミュニティセンター	215人	継続	コミュニティセンター
合計	1,329人		

20

20

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【宮本小学校区】 想定避難者数：189人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
宮本小学校	347人	継続	学校
宮本コミュニティセンター	161人	継続	コミュニティセンター
宮本保育園	—	取消し	保育園
合計	508人		

21

21

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【青葉台小学校区】 想定避難者数：614人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
青葉台小学校	467人	継続	学校
青葉台中学校	471人	継続	学校
青葉台コミュニティセンター	54人	継続	コミュニティセンター
合計	992人		

22

22

II 長岡市の新たな取組（避難所の再配置）

長岡地域（川西）の再配置方針

【大積小学校区】 想定避難者数：102人

施設名	収容可能 人数	方針	理由
大積コミュニティセンター	172人	継続	コミュニティセンター
旧大積小学校	—	取消し	廃校
合計	172人		

23

23

II 長岡市の新たな取組（届出避難所登録制度）

届出避難所登録制度

- ・ 制度概要

自主防災会等が身近な集会所等を自主的に開設・運営する
避難所として届け出る制度

⇒ 災害時の市の物資支援等を円滑に！

- ・ 最大の利点

普段から慣れ親しんだ身近な場所で、
地域のみなさんで避難生活を送ることが可能

24

24

対象となる施設

- 地域の集会所、公民館、民間施設など
- 所有者・管理者の同意がある
- 避難できる床面積が50㎡以上
- 災害種別に応じて、安全が確保できる

25

25

登録できる団体

- 地域の自主防災組織
- 自主防災組織のない町内会
- ※ 組織の代表者が市に届け出ます。

26

26

登録までの流れ

- ① 組織の代表者が届出書を提出
- ② 市が建物の安全性などを確認
- ③ 必要に応じて届出者と協議
- ④ 登録通知書を送付

27

27

受けられる支援

- 希望により 市の物資を一部貸与
- 避難所として市が把握し、災害時の迅速な対応が可能
- 災害時は 食事や物資などの支援が届きやすくなります

28

28

注意していただきたい点

- ・ 市の指定避難所を開設しない場合は、支援ができません
- ・ 簡単なマニュアルを用意しますので、避難者数など市への報告をお願いします
- ・ 長期化する場合、市が指定する避難所に移っていただく場合があります

29

29

まとめ

避難場所	利用者	食料等物資	ストレス	市の取組 (下線部分は新たな取組)
自宅や 親族宅 (耐震性あり)	家族や 親族	指定避難所 で受取り	低	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化の補助 ・家庭内備蓄の啓発
届出避難所 (集会所等)	地域住民 のみ	指定避難所 で受取り	中	<ul style="list-style-type: none"> ・制度新設 ・物資の貸与 ・災害時の円滑な支援
指定避難所 (学校等)	誰でも	直接避難所へ	高	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営体制の整備 ・テント式パーティションや簡易ベッドの配備 ・生活環境の向上のための避難所の再配置

30

30

長岡市の防災施策に
御理解、御協力のほど
よろしくお願いいたします。

31